



第 39 号

調 布 市 文 化 協 会

調布市小島町 2-33-1 調布市文化会館たづくり 6 F

## 新たな文化施設を加えて、多様な連携を

調布市生活文化部長 増沢 俊博

調布市基本構想では、まちづくりの一つとして、文化をはぐくむまちづくりを掲げ、「市民一人一人が充実感のある生活文化、芸術文化を創造し、享受できるまちをともに築く」と謳われています。

この構想を実現するために基本計画を定めますが、この三月に、これからの六ヶ年の後期基本計画をまとめました。芸術・文化の分野では、芸術文化に触れる機会の提供、市民の芸術文化活動の促進、芸術文化施設の整備運営の三つを柱として、具体的な事業を展開します。

今、仙川地区で「音楽・芝居小屋のあるまちづくり」を進めています。この小屋は客席規模が100人から200人の比較的小さなホールですが、主に演劇・音楽・舞踏の舞台として構想されています。その目指す姿を「舞台芸術を楽しむ市民の育成・支援拠点」とし、新たな舞台芸術活動が生まれる場、舞台芸術を気軽に楽しむ場、地域や市民の知恵と行動が発揮できる場として設計されています。施設のあり方を、鑑賞型から創造型へ、貸出事業や鑑賞型事業中心の運営から新たな地域文化を創出する運営へと重点を移して検討したものです。そのために、運営においては、市民が主

体となること、利用しやすい・利用したい施設であること、舞台芸術者育成に集中した事業展開を図ることに重点を置いています。

調布市においては、市民の文化団体等の文化芸術活動が非常に活発に展開され、たづくりのギャラリーを始め、各施設もよく利用されています。また、芸術分野の大学等も立地しています。調布市文化協会には多くの団体とグループが参加するとともに、初心者を対象とした実技講座・文化講座なども開催されており、市民の創作・創造活動への門戸が開かれています。こうしたさまざまな市民・団体・活動が連携・協働し、新たな調布市の地域文化を創出する一つの核として、音楽・芝居小屋は来年二月にオープンします。「市民が生活・芸術文化を創造し、享受できるまちをともに築く」ために、新たな施設運営の1ページを加えて、多様な連携が深まることを期待しております。

※文化協会の所管は生活文化部です。その要の部長に、四月一日付で就任された増沢部長に寄稿いただきました。

2007(平成19)年度  
調布市文化協会第41回定期総会

日時 2007年4月27日(金)18時～  
場所 調布市文化会館たづくり12F大会議場  
出席者 74人 欠席 14人  
委任状 13人 (構成員88人)  
議長 奥平 恭子氏(調布市音楽連盟)

第41回定期総会は標記の通り開催されました。

恒例のように高岡会長の挨拶に始まり、来賓の長友市長及び杉崎市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議事に入るにあたり、議長に奥平恭子氏(調布市音楽連盟)を選出、書記に宇都宮靖彦(文化協会庶務)が指名されました。

第1号議案・06年度事業報告  
第2号議案(1) 06年度一般会計決算報告、第2号議案(2) 06年度コミュニティサロン調布入間町収支決算報告があり、とくに第2号議案(2)は全体会計に与える影響も少なくないので、今期より説明事項に加えましたが、それぞれ承認されました。

第3号議案・07年度事業計画(案) 第4号議案・07年度一般会計予算(案)がそれぞれ説明され、とくに本年度は専任事務員の雇用の件や、生活文化部の所管団体になったことに伴う変更などが触れられました。審議の結果いずれも承認されました。

その他本年度は通常の任期満了にともなう人事の交代期ではありませんが、2名の役員が病氣その他已むを得ざる理由により、辞任を認めざるを得なくなり、かわって新たに事務局担当理事を美蔦洋子氏(調布三曲協会) 山岸直子氏(調布市ハワイアンフラ協会)へ

調布市文化協会加盟団体・代表者一覧

加盟団体名	代表者	電話番号
調布市アマチュア囲碁連盟	丸茂 一	〇四二一五九二一四六九二
調布 映 像 協 会	吉田 正夫	〇三三三〇〇一九八三〇
調布エスベラント会	山野 裕	〇四五一九六一二三七八
調布市演劇協会	山根 久幸	〇四二一四八二一三七三
調布市音楽連盟	奥平 恭子	〇四二一四八四一八九四四
調布市歌謡同好会連盟	齋藤 一正	〇四二一四八五一二四一
調布市奇術協会	吉田 義治	〇三三三〇〇一八五二四
調布市吟剣詩舞道連盟	連代 義明	〇四二一四八二一七八八三
調布市工芸美術協会	大山 雅子	〇四二一四八二一八四二九
調布市茶華道連盟	五島 まつ子	〇四二一四八四一〇三〇六
調布 三 曲 協 会	渡辺 泰子	〇三三三〇〇一〇八四五
調布市社交ダンス連盟	泉 梅信	〇三三三〇〇一〇六一三
調布 写 真 連 盟	前田 豊	〇四二一四八四一三〇〇七
調布市将棋連盟	宇都宮 靖彦	〇四二一四八二一五五三
調布市書道連盟	小川 美代子	〇四二一四八七一三一八
調布市大正琴連盟	安部 妙子	〇四二一四八五一四四〇五
調布市ハワイアンフラ協会	富澤 登代子	〇四二一四八二一三九二
調布市美術協会	宮本 正章	〇四二一四八六一七四三三
調布市フラワーデザイン協会	海津 成子	〇四二一四八五一四四〇五
調布市民謡連盟	市川 徹	〇四二一四八七一一〇八八
調布市民謡舞踊好友会	両角 秀子	〇四二一四八二一六三八三
調布 洋 舞 協 会	甲斐 浩	〇四二一五九一三三六〇二

## 調布市文化協会役員

任期

平成二十年三月三十一日まで

〔会長〕

高岡 宮子(フラワーデザイン協会)

〔副会長〕

海老澤 勇(歌謡同好会連盟)

加藤 之郭(社交ダンス連盟)

〔事務局長〕

吉井千香子(美術協会)

〔事務局次長〕

両角 秀子(民謡舞踊好友会)

〔会計〕

池野 潤治(アマチュア囲碁連盟)

加藤 弘子(民謡舞踊好友会)

〔庶務〕

宇都宮靖彦(将棋連盟)

山根 久幸(演劇協会)

美蔦 洋子(三曲協会)

山岸 直子(ハワイアンフラ協会)

〔会計監査〕

田代せつ子(三曲協会)

山本 恒春(美術協会)

委嘱したことが高岡会長により報告されました。

引き続き行われた懇親会でも親睦と友好を深めることができました。文化協会も、新たな位置付けに変わり、それに伴う検討課題も増えてきております。

一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 調布市長と語る文化懇談会

恒例の市長と語る文化懇談会のスケジュールが今回は調布市における生涯学習をテーマに左記の如く開催されます。

我々と関係深いテーマだけに、中身の濃い議論が語られることが期待されます。

加盟団体を代表して理事の皆様に参加よろしく願います。

日時 平成19年7月26日

午後6時～8時

会場 文化会館たづくり 10階

一〇〇一学習室

テーマ「調布市における生涯学習」

## 四十年目の交付金

調布市文化協会

事務局長 吉井千香子

調布市文化協会は、昨年創立四十周年を迎えました。

伝統と歴史のあるこの文化協会の一翼を担って数年になりますが近年、「調布市社会教育関係団体補助金交付取扱基準」により、毎年補助金が減額される中、ちゃんとした予算も立てられないまま、一体どのようにして文化協会を存続させていくべきか、又文化協会の必要性まで考えさせられながらの文化活動でした。

昨年十一月、この活動費(補助金)が、調布市からの「交付金」という形で解決され、高岡会長はじめ、役員、理事一同心からホッとすると共に、今後の文化協会に託された役割も、非常に大きく、重いものがあることを肝に銘じております。

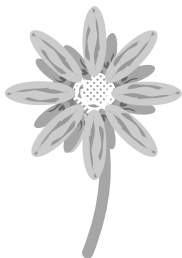
加盟団体一同、心してこれから

の文化協会の活動に力を入れていかなければならないと思っております。

平成十九年度より文化協会室に専任の事務局員を雇用し、益々、文化協会の活動が充実し発展していくことと思っております。

又文化協会の大きな事業の一つとして、調布市民文化祭も担っていますが、その文化祭に対しても五十万円余の増額をしていただき、調布市民に果すべき役割の大きさもつくづく感じて居ります。

創立四十周年を迎えた伝統ある文化協会、加盟団体一同しっかりと心を受けとめながら、一丸となつて、調布市民文化の向上に寄与していかなければと覚悟致して居ります。



## 研修・交流旅行

### 前橋市文化協会との交流

今回の研修交流旅行は群馬県の県庁所在地前橋市へ行くこととなりました。

前橋市は人口三十二万、赤城山をのぞむ関東平野の北に所在し、昭和から平成にかけて、所謂「大物選挙区」と言われ、福田、中曽根、小淵といった自民党の領袖が活躍したところです。

上州と言えば、その昔養蚕や製糸産業が栄え、「かかあ天下に空っ風」と言われて、これは働き者

### 群馬の研修旅行に参加して

大正琴連盟

清水 和子

群馬は東京より季節のめぐりが遅いので藤の花が満開でした。石

の女性に対するほめ言葉だそうですが、今はどうなるのでしょうか。想像し乍ら26日、調布を出発し

た我々31人は、交通には比較的恵まれ、渋滞にまきこまれることも少なく、定刻よりすこし早く前橋に到着しました。

昼食休憩後、午後一時半から前橋市役所で前橋市文化協会との交流が始まりました。

前橋市文化協会は、事務所を前橋市政策部文化国際課におくことされているように、行政とのつながりは強く、樽井哲会長も行政サイドの出身者だそうです。

両方の役員レベルでの挨拶、組織の説明などの後は、展示部門・

楠花などは蕾のまま初夏を待っていました。晴天の中、緑鮮やかに美しく自然の恵みに感動する旅でした。

目的の前橋市との交流につきましては、建物の大きさ、エントラ

発表部門に分れて活発な意見交換が行われましたが、それぞれ対応の相手がないサークルがいくつかできませんでした。

前橋市文化協会では、歴史、川柳、俳句、短歌、漢詩など調布市文化協会では、囲碁、将棋、ハワイアンフラ、フラワーデザイン、歌謡同好会、大正琴などです。

よく言えば、調布の文化協会は下からの盛りあがりを中心に組織され、愛好者の底辺が広いもの、新しいものに特長があります。一方前橋市の場合は、はじめに行政ありきで、昭和のお役人さんの好きそうな、所謂文化の香り高い部門が並んでいる感じですが、共有化する問題として、高齢化

の広さに、土地がある」と感じましたのですが、内容については近隣の市との合併などがあり事業が定着していないのか何かすべて行政の手の中で動いている様子が見え自負するものがない様に思え

の悩みがあり、前橋市文化協会はいくつ以上に深刻であるとの感触でした。

前橋市文化協会にとっては、他市との交流ははじめての経験で、得るものがあつたとの謝辞がありました。

さて後は竹久夢二記念館を訪ねて大正ロマンに浸るなど、幹事さんが準備したコースをこなして帰って参りました。(宇都宮靖彦)



ました。予算額も多くどんなにか豊かな活動をと想像しましたが、豊かさは金額ではないようで、わが調布市文化協会に榛名富士より高い誇りを持ちました。尚群馬は大正琴の愛好者の多い所の筈ですが文化協会にはその部門はなく、私といたしましては大変残念でした。苦言を申しますと迎える側の人数も少なく、廊下の電気もつけず、見送りもなく、接遇の悪さを感しました。

宿泊先では日頃お目にかかれないう皆様方のお姿に接し楽しませていただきました。翌日の榛名神社では加藤副会長の「すぐそこです」のお言葉に何のためらいもなく歩き出し「もう少し〜」の声にはげまされ無事参拝が出来ました。まだ体力のあったことを喜び加藤副会長にお礼を申し上げる次第です。中身の濃い行程に本当に良い旅をさせていただきました。高岡会長をはじめ役員の皆様方に心より感謝申し上げます。

## 交流旅行に参加して

工芸美術協会

坂本 幹男

今年の研修旅行は観光と民芸が盛んで、しかも多くの政治家が輩出されている群馬県前橋市文化協会を訪ねました。

5月26日(土) 早朝、高岡会長以下役員、協会々員31名が参加しバスでいま時珍しい黄金色に実った麦畑が窓から見える関越道を使い上州前橋市に向かいました。

午後より前橋市役所内に於いて前橋市文化協会、樽井哲会長以下多くの関係者の出席を戴き両協会の紹介から活動状況の説明が有り、その後発表部門と展示部門の二つのグループに別れ積極的な意見交換が交わされました。

前橋市文化協会としては、県外の文化協会と交流する事は初めてとの事の様でしたが、相互理解が出来たと思います。

前橋市文化協会は22の部会と、

三つの支部から構成されており調布と大差有りませんが、土地柄が八木節部会や、郷土芸能部会と言った伝統芸能を保存・伝承する部門が有りました。

前橋市文化協会を後にして竹久夢二記念館で絵画やアンティークなオルゴール、蓄音機を鑑賞し、伊香保温泉にて名湯につかり懇親会を行ないました。

翌日は榛名湖から榛名神社に向かいました。ここは坂道で階段が多く大変な所でしたが加藤副会長の励ましのお言葉で殆んど全員の方が参拝してこられ皆様が健康である事が立証されました。

その後名物水沢うどんで昼食を取り群馬サファリパークを見学し群馬を後に致しました。

私の研修交流旅行は二回目の参加となりますが、毎回安全で収穫の多い、しかも楽しい旅でした。ここに役員の皆様のお気遣いと、ご協力に感謝致します。



実 技 講 座

表千家茶道実技講座

四月二日、九日、十六日と表千家茶道の実技指導を行いました。たづくりの百日紅を利用して、助手二人に手伝って頂き、風炉を二ヶ所に置いて指導を行いました。

二日、初心者、経験者に分けて初心者には茶巾のたたみ方、茶碗の扱い方、飲み方を致しました。

九日、全員、茶室の入り方、床の拝見の仕方、歩き方を指導して薄茶運びの点前を致しました。

十六日、三回の指導で最後となりましたので、薄茶と濃茶の違いを理解して頂く為に、濃茶を点てて、濃茶を味わって頂きました。

文化協会、受講者、その他皆様のお陰で楽しく出来ました事を、お礼申し上げます。

調布の文化の発展を祈念致します。有難うございました。



調布市茶華道連盟

表千家茶道教授

宮崎 由美子

フラダンス

初心者講習会

五月二十六日、二十七日に初心者を対象に、タヒチアングダンスの講習会を開催しました。

初めはフラダンスのベーシックステップと手の動きを解説し、次に受講者は慣れない動作での踊りを講師の動きを真似て真剣に取り組むものの、出るのはため息と汗しかし繰り返して踊っている内に真剣な顔が笑顔に変わってきました。

中間には現在私の教室に通う生徒が、お手本の踊りを披露すると感激し、雰囲気も和み、再開したタヒチアングダンスのベーシックや講師の腰振りを見ながら年齢に関係なく、激しい動きで踊りました。

最後の方は笑い声や、楽しいですねの声が出たり、汗を流しての踊る様は、ハワイの海の荒波のようでした。



調布市ハワイアン・フラ協会

フラダンス専門通訳

アイリーン 富澤

## 実技講座・文化講座

カラオケ実技  
初級・中級講座

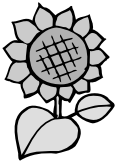
調布市歌謡同好会連盟が四月二十一日、二十八日、の二日間、カラオケ実技講座を実施しました。市報で一般市民を対象として募集したところ、応募者多数あり八十名で締め切りました。

今年の講師はP・K・K(クラウン歌謡学院)の斉藤裕美先生で音大出身の若い女性の先生です。

歌の基本を忠実に教えられ、呼吸法・発声法・リズムの取り方等、一小節毎にピアノに合わせて二曲を丁寧に指導して頂きました。歌手のテンプも聞き、詩、言葉の表現、アクセント、語頭語尾に注意され、短時間の講習会でしたが皆さん熱心に受講されました。そして一人でも上手に唄える様になります。歌の楽しさを実感された事と思います。

調布市歌謡同好会連盟

嶋 谷 隆 治



## 文化講座

## 宮城道雄の世界

調布三曲協会員 佐藤 吉和

三曲協会の初の試みとして会員による文化講座を、六月八日に文化会館たづくりの映像シアターで行いました。講演内容は宮城道雄の作曲意欲、谷崎潤一郎の「春琴抄」に書かれた謎、箏曲の簡単な歴史です。この企画に興味を持たれ90人以上の方がおいで戴いた事は担当者一同心から感謝しております。

我が国の伝承文化には鎖国時代の弊害が今も課題として残っていて、過去の指導者達が弟子に技術や知識の出し惜しみをして来たからだと思います。その積もりに積もったのが現状かも知れません。一般の人やこの様な宿命を背負った人達に僅かでも知識の手を差し伸べるのが今回の狙いでありました。

平成十九年度これからの

「実技講座」は次の通りです

「詩吟・初心者のための講座」

吟剣詩舞道連盟

6月9日、23、30日(土)

「デジカメ・ビデオ初級講座」

映像協会

7月3日(火)、4日(水)

〔この2講座は会報発行迄に終了〕

「大正琴実技講座」

大正琴連盟

11月18日、25日(日)

「将棋入門講座」

将棋連盟

平成20年1月12日、26日、

2月9日(土)

「楽しいコーラス教室」

音楽連盟

平成20年1月23日、30日、

2月6日(水)

「パンフラワー初心者講習会」

フラワーデザイン協会

平成20年2月14日、28日(木)

## 新代表より一言

調布市民謡舞踊好友会

会長 両角 秀子

調布市民謡舞踊好友会は昨年三月、新しい執行部になりました。小泉前会長のあとを引き継ぎ気持ちも新たに活動しております。

昭和三十九年四月調布市民謡舞踊好友会の発足の年に入会し、私の人生の半分以上を好友会と共に歩んで参りました。この四十数年を振り返り思うことは、今は亡き諸先生方と、参加したふるさとまつり、体育祭開会式での調布音頭、文化祭発表会、研修旅行、等々が懐かしく浮かんで来ることです。

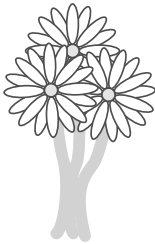
年月の流れは早いもので、現在では二代目、三代目の会員の方達もおります。執行部にも、二代目の方達(会主)が、それぞれの役割の中で、会の行事に、協力をし、運営に携っております。

当会の目的であります民謡舞踊をとおして、会員相互並びに市民

一般との親睦を図り明朗且つ健康な気風を醸成し、調布市の文化向上に寄与する事。とあるように会員が、力を合わせ、気持をひとつに和を重んじ大きな輪となり踊って行くことです。

今年も、調布よさこいまつり“のあと直ぐに、文化祭の発表会と忙がしくなります。会員一同力を合わせなお一層研鑽をかさね努力してまいり、一人でも多くの観客の方達に楽しんでいただける舞台にしたいと思っております。

今後とも、調布市文化協会と共に、調布市の文化発展のために貢献し、調布の文化向上を祈ってやみません。



## あとがき



今年度の住民税の請求をみて、おやつと驚いたのは私だけではな

いと思います。  
三位一体の改革により、結局税源が地方に委譲され、今まで地方交付税とやらで、官僚機構の霧の中で見えなかつた部分が見えてきたわけで、これから地域社会もより顔の見える形で進んでゆくこととなり、よいことではないでしょうか。

その時点に間に合うような形で、文化協会の役割も見直され、新しい第一歩を歩きだせるのは嬉しいことですが、一方、責任もまた重くなることを自覚しなくてはなりません。

さて、団塊の世代の生涯学習ですが、将棋連盟の例をとりますと、市民参加推進室のお世話で、例年何人かの参加者を頂戴して実行しておりますが、囲碁や将棋の悩みは如何なる形の発表会を実施する

かにあります。

コーラスや器楽、美術などは成果を一堂に集めて発表し、多くの参加者に聞いたり見たりしてもらう発表会が集大成の場となりますが、将棋はこれを市民大会の専門棋士の指導対局で吸収しようということになりました。

市民大会では、従来より当連盟顧問の中村八段に指導将棋をお願いしておりましたが、そこに団塊の世代の生涯学習の終了者への指導将棋(場合によれば棋力検定も含む)を組み込もうということになりました。

幸い今年から、文化協会も協力して下さることとなり、団塊の世代の生涯学習と文化祭がうまく連動して喜んでいきます。

夏は木島平の盆踊りの季節です。八月十一日(土)、十二日(日)の木島平村芸術文化協会との文化交流に多くの方のご参加をお待ちします。

(宇都宮、美蔭)